

いよいよ令和七年度が始まりました。

今の気分はどうですか？ 三年生は義務教育最後の年ですね。最高学年です。受検があります。進路を決定していく一年となります。二年生は後輩ができて先輩になります。職場体験学習や修学旅行などの行事がたくさんあり、三年間で一番充実する一年となります。つまり、三年生にとっても二年生にとっても、とても大事な一年です。

ところで、皆さんには、その大事な一年だという自覚がありますか？ 四月が来て、自動的に学年が上がった、それぐらいの意識しか持っていない人もいるのではないでしょうか？

学校は何をするために来るところででしょうか？ 勉強をするところですか？ 部活動をするために来るところですか？ それとも、仲の良い友達に会って話をするために来ますか？ それぞれ、学校に来る理由はあると思います。もしかしたら、学校には行かなくてはならないから仕方なく行っている、そう思っている人もいるかもしれません。でも、はたしてそのような理由で学校に来て、皆さんは心から満足できますか？

何のために勉強をするのでしょうか？ 何のために部活動を頑張るのでしょうか？ 何のために友達に会いに来るのでしょうか？ 何のために？ 何のために？ 考えたことは、ありますか？

私は、この四月から校長になりました。なぜ、校長になったのか？ 何のために？ それは、皆さんが幸せに生きていくための力を身に付けるお手伝いをするためです。そのためには、一教師

としてでは難しいと感じたため、校長になると決めました。校長としてリーダーシップをとり、船木中学校の教職員と共に、一丸となつて皆さんが幸せに生きていくためのお手伝いをする、それが私の一番の目的であり、目標です。

もちろん、皆さんが幸せになるお手伝いをする前に、教職員自身が幸せを感じていないようでは、お手伝いどころではなくなります。ですから、私は校長として、皆さんも、教職員も、そして私自身も、みんなが幸せを感じる学校を目指します。そのために、自分にできることは何でもやろうと考えています。これが私の、何のために？ です。このことを、寝ても覚めても、常に意識します。ずっと意識していると、やがてそれが習慣になり、習慣になると、意識しなくても、自然にそれができるようになります。私はそこまでいきたい。

新しい学年のスタートに当たり、皆さんにも、何のために？ ということを真剣に考えてもらいたい。この、何のために？ が定まりさえすれば、生活がガラッと変わるはずです。そして、その、何のために？ を意識し続けることで、自然と人の役に立ったり、人に喜んでもらったりすることが増えていきます。そして、知らず知らずのうちに、皆さん自身が幸せを感じるが多くなつたな、と思うようになる。皆さんがそうなっていくことを期待して、式辞とします。

令和七年四月八日

船木中学校 校長 越智 誠司